

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

学校長より

白根百田小学校の校長として勤めさせていただきま
す望月政幸です。今年度で本校三年目となりました。
校長として最後の一年を、この白根百田小で過ごせる
ことに幸せを感じております。今年度もよろしくお願
いいたします。西側駐車場には、今年も見事な桜が咲
きました（右は3月30日の写真です）。



なかなか新型コロナの収束が見えません。そんな中
での新年度開始です。始業式では、昨年度に引き続き以下の話を児童にしました。

☆まずは、命を守る行動を！

身の回りの危険に対し、自分の命を大切に作る行動をとることを第一に考えてほしいです。

☆人に優しくなろう（思いやりをもつ、人の嫌がる ことをしない）！

特にこんな時だからこそ、304人の児童全員が仲良しでいてほしいです。

☆「してもらって幸せ」から「できる幸せ」「してあげる幸せ」に！

一歩成長した「幸せ」を感じられますように・・・。

☆あわせて、今年度はマスク越しでも「しっかりした挨拶」を！

※垣根の低い校長でありたいと思います。何かありましたら、遠慮なくお伝えください。

※今年度も、時折学校だよりを発行していきます。よろしければ御一見ください。



入学式実施

4月6日、令和4年度の入学式が行われました。増
山希世彦 南アルプス市教育長様、望月一輝 PTA 会長
様にご臨席いただく中で、ピカピカの1年生を迎える
ことができました。早く学校生活に慣れ、楽しく充実
した毎日を送ってもらいたいと思います。保護者の皆
様、ご協力をお願い申し上げます。今年度も、しっか
り話が聞けて、とても反応の良い新入生ばかりでした。



「子ども」 ドロシー・ロー・ノルト

批判ばかりされた子どもは 非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは 力にたよることをおぼえる
笑いものにされた子どもは ものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは 鈍い良心のもちぬしとなる
しかし 激励を受けた子どもは 自信をおぼえる
寛容にであった子どもは 忍耐をおぼえる
賞賛を受けた子どもは 評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは 公正をおぼえる
友情を知る子どもは 親切をおぼえる
安心を経験した子どもは 信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは 世界中の愛情を感じ取ることを覚える



これは（下も）、ドロシー・ロー・ノルトの言葉です。「親（大人）の在り方一つで子どもは変わる」ということで、もう一度考えてみませんか。

赤ちゃんは、泣いて自分の願いをします。これを放っておくと、そのうち疲れて泣き止みます。これが重なると、手のかからない育てやすい子になります。しかし、この子は大きくなって、自己評価が低く、心の病になる可能性が非常に大きくなるそうです。これでは、子育てとして失敗です。子どもには、個性があります。自己主張もあります。親にとって、良い子、育てやすい子が、本当に良いことでしょうか？子育てしやすい子が、必ずしも子育てでうまくいくことにつながっているわけではないのです。現代社会では、人に迷惑かけないように、とにかく怒ってしつけるとか、お金を出すことで愛情を注いでいると感じているとか、間違った考えが一人歩きしていることがよく見られます。親が子どもに愛情を注ぎながら接し、子どもを諭し、子どもと一緒に学んでいく。それが、子育てではないでしょうか。愛情を十分に受け取れば、子どもは、必ず正しく巣立っていくことでしょう。子どもたちは反抗もします。失敗もすることでしょう。それを繰り返しながら成長していくわけです。日々、悩みながら、それでも自信を持って子育て頑張りましょう！今年度もよろしくお願ひいたします。

「子は親の鏡」より ドロシー・ロー・ノルト

誉めてあげれば 子どもは明るい子に育つ
愛してあげれば 子どもは人を愛することを学ぶ
認めてあげれば 子どもは自分が好きになる
見つめてあげれば 子どもは頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば 子どもは思いやりを学ぶ
親が正直であれば 子どもは正義感のある子に育つ
優しく思いやりをもって育てれば 子どもは優しい子に育つ
守ってあげれば 子どもは強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば
子どもはこの世の中はいいところだと思えるようになる

